

事務事業名 障害者等支援経費

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障がい者福祉の確立
小分類	2	障がい者（児）の自立支援
主要な施策	1	生活支援の充実
事務事業番号	034	事業開始年度 平成 12 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	対象となる世帯に対し、家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料の一部を助成することにより、地域生活での経済的負担を軽減し、もって障がい者福祉の向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	市内に居住する障がい者（身体障がい者1・2級、知的障がい者、精身障がい者1・2級）在宅世帯及び65歳以上ねたきり老人在宅世帯に対して、家庭系指定ごみ袋30%用20枚を交付するほか、し尿汲み取り世帯に対しては、し尿処理無料券1枚を交付する。 【事業内容】 ・交付見込世帯数 758件 ごみ袋 14,472枚 し尿処理無料券 110枚
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	障がい者世帯の経済的負担を軽減するため、本年度も引き続き、ごみ袋及びし尿処理無料券を交付する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料助成制度実施要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	54	1,021	948	948	948
事業費 合計			54	1,021	948	948	948

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	指定ごみ袋交付枚数	枚	目標値	16,000	16,000	14,815	14,815	14,815
			実績値	14,019	14,472			
	し尿処理無料券交付枚数	枚	目標値	120	100	100	100	100
			実績値	126	110			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
平成19年度指定ごみ袋交付枚数：13,080枚 平成20年度指定ごみ袋交付枚数：14,140枚 平成21年度指定ごみ袋交付枚数：13,880枚 平成22年度指定ごみ袋交付枚数：14,019枚	平成23年度指定ごみ袋交付枚数：14,472枚 交付枚数は増加傾向にある。助成対象者への経済的支援は拡大している。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 民間等で類似した事業もなく、また民間で行う可能性も少ないため、行政主体で進める事業である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 平成22年度に、登別市障害福祉関係団体連絡協議会より、助成対象の拡大の要望があったことなどから、必要性の高い事業であると考えられる。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 家庭系指定ごみ袋は安価ながらもどの世帯にも需要があり、低予算で高い効果をあげている。また、1度に1年分交付するため、少労力である。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 指定ごみ袋交付枚数は、年々増加している。また、それに伴い、助成対象者からの感謝の電話も増えているため。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	助成対象が障害者在宅世帯及び65歳以上寝たきり老人世帯であることから、助成のたびに感謝の電話も受けており、対象の経済的支援として必要な事業と考えている。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

改善	備考	事業の主旨を精査のうえ、事業実施の必要性を検証すること。
----	----	------------------------------